

木津川市の学研エリア

2万平方メートル超商業施設

10月 開業予定 平和堂店舗など核

関西学研都市エリアの木津川市内で、大阪市の不動産開発業者が、売り場面積約二万平方メートル超の大型商業施設「ガーデンモール木津南（仮称）」の開発計画を進めていることが、二十三日分かった。ホームセンター「カインズ」や平和堂の食品スーパー「フレンドマーケット」を核テナントに、温浴施設も備えた複合型のショッピングセンターで、十月の開業を予定している。

開発計画によると、建設予定地は木津川市州見台二丁目で、敷地面積が約八万三千平方メートル。学研都市を運営する都市再生機構が所有し、不動産開発業者「ミキシング」（大阪府淀川区）が定期借地契約で借り受けて、店舗施設を建て、テナント誘

致を行う。投資額は約五十億円。年間売上高で約百―百十億円規模を見込む。

約五十一―六十店を誘致し、約千四百五十台分の駐車場も備えるとしている。

売り場面積は約二万平方メートルで、カインズ（群馬県高崎市）は京都府内で初出店で、平和堂店舗は府内十五店目。衣料品や飲食などの専門店

また、現地で温泉掘削を予定しており、約二千六百平方メートル規模の温浴施設も併設。ファミリーや高齢者が一日滞在して楽しめる商業施設を目指

京滋では近年、スーパーやホームセンターの大手チェーンによる出店ラッシュが続いている。関西学研都市エリアだけでも、二〇〇五年十一月、中部地方地盤のスーパ―、ユーストアが入居する「ユータウンけいはんな」が開業、今年五月には「イオン高の原ショッピングセンター」がオープンする。人口減少時代を迎え、消費規模の縮小が予想される中、府南部でも流通競争が過熱している。